

巻頭言

電気化学協会九州支部
平成30年度 支部長
堀 文昭 (大分大学工学部)

電気化学協会九州支部は、昭和36年関西支部から領域に山口県を含む九州地区が九州支部として分離独立し、以来30周年を迎えました。

このときに当り、過去の歩みを振り返り将来への飛躍発展の糧にすることは意義深いものがあります。

この度、九州支部創設当初から支部の発展に精魂を傾けられた諸先輩各位の適切な示唆と熱意に支えられて、創立30年記念誌が企画され発刊される運びになりました。

この30年間は社会・産業の急速な変化とともに電気化学分野の変貌は、まことにめざましく、多様化と学際化が進み、広汎な分野を包含しながら基礎科学の進展に基づいた応用技術の成果が次々と開花しています。これはとりもなおさず電気化学協会の発展と表裏一体と言えます。

支部活動を通じ、会員の face to face の関係を密接にすることにより、相互の交流や知識の交換ひいては学問的・技術的刺激が生まれ、個人の活性化と産学官の協力を促すことになります。これは支部発展の基礎であり、さらに電気化学協会の発展へ大きく寄与することになると思います。今後も会員各位の支部活動への一層のご協力をお願いいたします。

終りに記念誌発刊の企画を推進され、玉稿を賜った前支部長高橋敏郎氏、九州大学名誉教授清山哲郎先生をはじめ、多くの方々に感謝申し上げます。また編集にご苦勞された支部前庶務幹事九州大学江口浩一助教授、現庶務幹事九州大学久枝良雄助教授にお礼申し上げます。